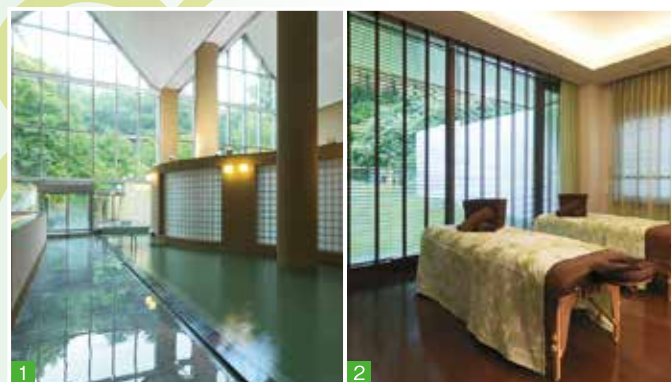


休日のひとときに、  
おとぎ話に出てくるような  
豊かな森の物語を。

暖炉を覆う大木をイメージした鉄製の  
オブジェが印象的な「森ラウンジ」

阿寒の雄大な大自然に抱かれて  
気取らず気ままに過ごす  
ココロとカラダに優しい休日を。

ぬくもりを感じさせる灯りに抱かれ、  
雄大な自然を間近に感じる「アベソ」内のバー。



- ①潤いあふれる森のオアシスをイメージした、心も体も解放する「森スパ」。
- ②エステからリフレクソロジーまで豊富なメニューを揃えたトリートメントスパ。
- ③お部屋で岩盤浴。良い汗をかいて、寛げる岩盤浴付DXルーム。
- ④できたての美味しさと、選べる愉しさを味わう「森ビュッフェ」。
- ⑤JBL製スピーカーで、お好みの音楽が楽しめるリスニングルーム。

宿についてからもオシャベリは続く。結婚しろって親がうるさい。上司がムカつく。彼氏が結婚を避けてる。話題は「いい大人」になっているけれど時間を忘れて、あの頃に戻っているようだった。

「そういえばエステの時間じゃない？ あつ、温泉も入ってない！」

こういうところも全然変わってない。大人になったんだから誰かがしつかりすればいいのに。でも、そういうところが今も一緒に旅ができるヒケツなのかも。

それからエステでお姫様気分を味わって、温泉でひと息。ちょうど大空が茜色に染まっていた。もうすぐ魔法がとけちゃう。

大自然に囲まれた宿。女子同士でなにも考えずに、気をつかわずに楽しめる旅。街中の女子会もいけれど、どうしても大人を捨てきれない。だから、たまには「あの頃」に戻る、こういう旅が一番のリフレッシュになる。

これからは誰かが結婚するまで、この女子旅は続くんだろうな。そう考えると、結婚なんかしたくないなあ……。

「さて、今日だけダイエット中止！ 思いつきり美味しいもの食べるよ！」

まったくもう。ちょっとセンチメンタルに浸っていた人の気も知らないで……。

心地のいい溜め息をついて、湯船を飛び出た二人を追い掛けた。



ある日、メールがスマホに届いた。

「そろそろ旅に出るよ。準備はできてる？」

女子校時代の仲良し三人組、毎年恒例の旅行の知らせだ。今年の幹事は、美雪。男勝りな部分もあるけれど、私たちの心を鷲掴みにする細やかな宿選びをしてくれる。なんといっても鶴雅の宿と聞いて心が躍った。

美雪のモノマネは続く。由佳里もお腹を抱えて笑っている。こんなに笑ったのは、どれくらい振りだろう。

「こら！ 笑うなんて緊張が足りん！」

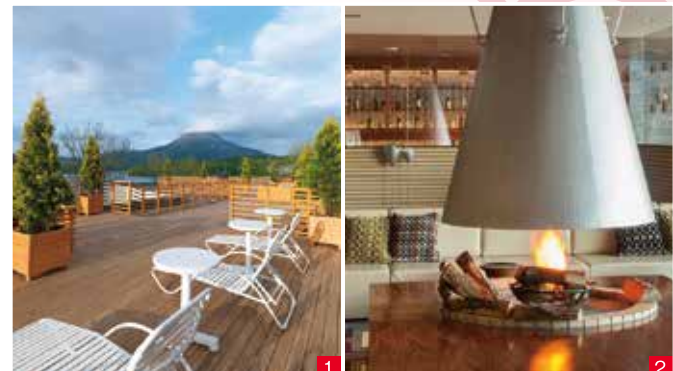
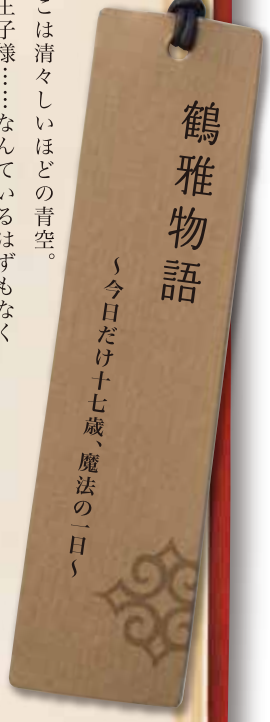
美雪のモノマネは続く。由佳里もお腹を抱えて笑っている。こんなに笑ったのは、どれくらい振りだろう。

懐かしい！ あの先生って元気なのかな」

由佳里が、すぐさま反応する。今も変わらない軽妙な掛け合い。思わず笑ってしまった。

「あら！ 笑うなんて緊張が足りん！」

美雪のモノマネは続く。由佳里もお腹を抱えて笑っている。こんなに笑ったのは、どれくらい振りだろう。



- ①青空が映る阿寒湖を一望するデッキスペース。
- ②ゲストラウンジの中心には暖炉があり、マシュマロ焼きなどのお楽しみも。
- ③シルキーバスや立ち湯など、多彩なお風呂が楽しめる女性大浴場「マネシリ」。
- ④独自のマッサージで心身にやすらぎを与えるトリートメントサロン「フレブ」。
- ⑤素材本来の旬の味を生かしたお料理が楽しめる「北海道ビュッフェ HAPO」。



〒061-2302  
札幌市南区定山溪温泉東3丁目192番地  
TEL.011-598-2671  
FAX.011-598-2712



〒085-0467  
釧路市阿寒町阿寒湖温泉4丁目6番10号  
TEL.0154-67-4000  
FAX.0154-67-2754